

メーカーを超えたモノやサービスの連携の必要性

(例) 「緊急地震速報」を受信したら、「ガスコンロ」を消す！

- 異なるメーカーのモノやサービスは連携できない。IoTを相互接続する仕組みが必要。

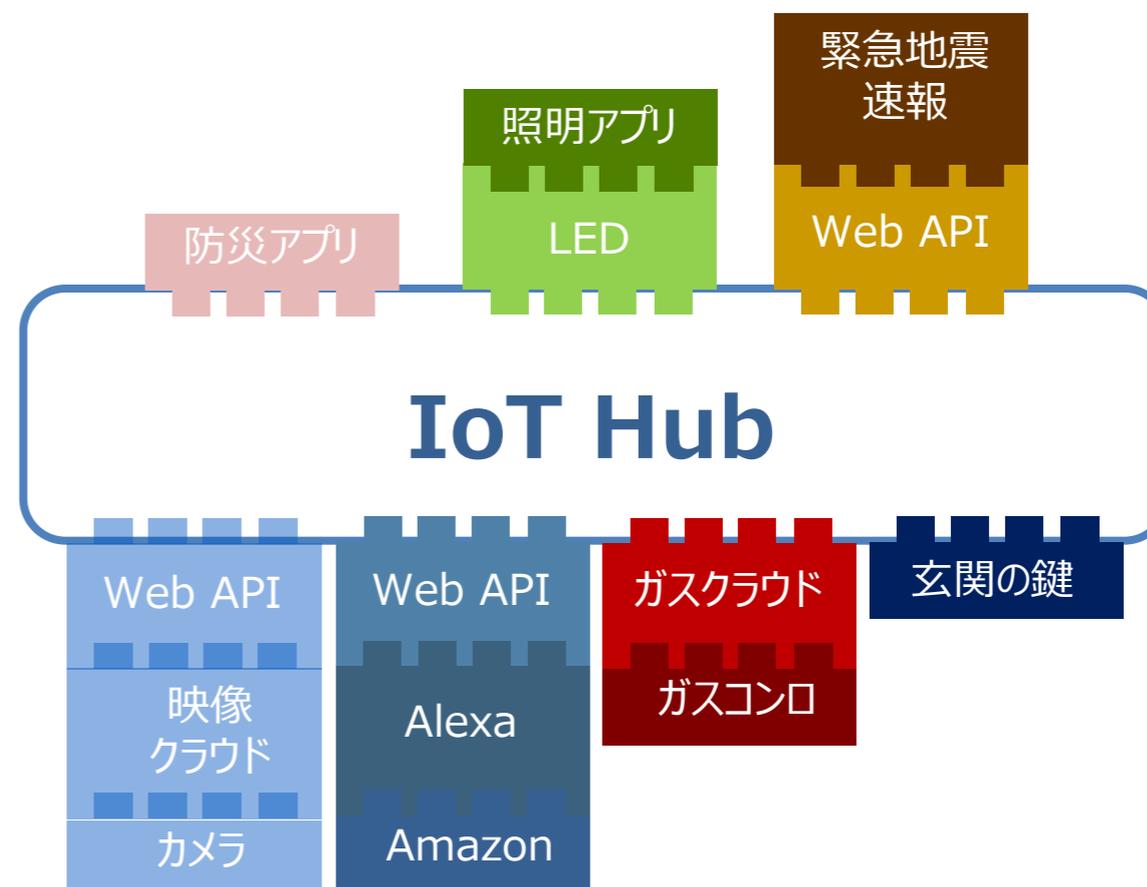
(例) 「△△を××したら、〇〇を□□する」等のサービスの創出

- これからの日本が避けて通れない高齡化、防災対策にIoT活用は極めて有効。

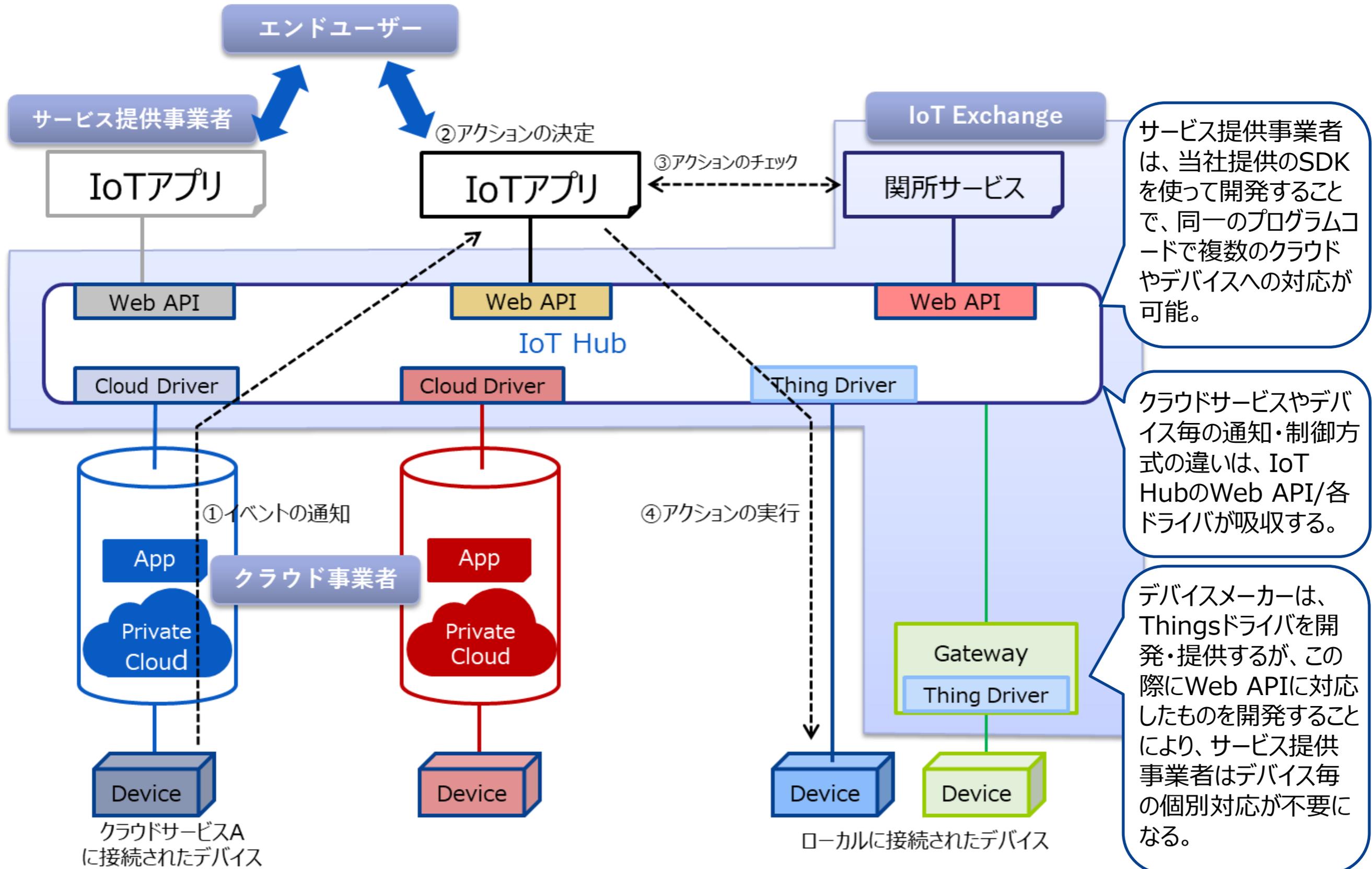
【異なるメーカーのモノやサービス】



【異なるメーカーのモノやサービスを組合せる連携イメージ】



IoT相互接続サービスを商用化 (IoT Exchange)



サービス提供事業者は、当社提供のSDKを使って開発することで、同一のプログラムコードで複数のクラウドやデバイスへの対応が可能。

クラウドサービスやデバイス毎の通知・制御方式の違いは、IoT HubのWeb API/各ドライバが吸収する。

デバイスメーカーは、Thingsドライバを開発・提供するが、この際にWeb APIに対応したものを開発することにより、サービス提供事業者はデバイス毎の個別対応が不要になる。

安心安全なIoTサービスモデルの提案（プロバイダーモデル）

セルフサービスモデル（B2C）

プロバイダーモデル（B2B2C）

